

令和元年度 嵐山小学校教育の推進にあたって

《学校教育の重点より》

【社会情勢】急速なグローバル化や人口知能の飛躍的な進化など社会の加速度的な変化等による予測困難な時代

伝統と文化を受け継ぎ、次代と自らの未来を創造する子ども

～歴史に学び、今を見つめ、持続可能な社会の担い手として

多様な庇護人と協働しながら、豊かな人生を切り拓き、未来社会を創造する～

自ら学ぶ力

自ら律する力

- 1 よりよい人生や持続可能な社会を創造できる子ども
- 2 社会的・職業的自立を果たすことができる子ども
- 3 人権文化の担い手となることができる子ども

- 1 主体的・対話的で深い学びを重視した授業で学びの質を高める
- 2 日々の授業と家庭学習の連動・・・自学自習の習慣化
- 3 自他を大切にすることの育成
- 4 「公共の精神」に基づく態度

《新学習指導要領で育成を目指す「資質・能力の三つの柱」》

学びに向かう力、人間性等

どのように社会・世界と関わり、
よりよい人生を送るか

知・徳・体を総合的にとらえて構造化

何を理解しているか
何ができるか

理解していること・
できることをどう使うか

知識及び技能

思考力、判断力、表現力等